

令和7年2月10日

君津市議会議長 小倉 靖幸 様

創政会 会長 保坂好一

## 行政視察報告書

- 1 日程 令和7年1月20日（月）～22日（水）
  
- 2 視察先  
1日目（1月20日） 石垣市役所 沖縄県石垣市字真栄里672  
2日目（1月21日） 陸上自衛隊八重山警備隊 石垣駐屯地  
沖縄県石垣市字平得大俣1273-404  
3日目（1月22日） 糸満市観光協会 沖縄県糸満市西崎町4-20-4
  
- 3 内容  
石垣市役所 ①「シェルター(特定臨時避難施設)について」  
②「ふるさと納税について」  
  
八重山警備隊  
石垣駐屯地 ③「駐屯地概要と地域貢献について」  
  
糸満市観光協会 ④「沖縄県一の集客を誇る道の駅いとまんの運営及び、  
体験プログラムの取組について」
  
- 4 参加会員 保坂好一、小林喜久男、高橋明、下田剣吾、  
鈴木高大、四宮安彦、大滝浩介 計7名
  
- 5 交通機関 飛行機、レンタカー

1 日 目 令 和 7 年 1 月 2 0 日 ( 月 ) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 3 0

場 所 : 石 垣 市 役 所 2 階 議 会 会 議 室 沖 縄 県 石 垣 市 字 真 栄 里 672

担 当 者 : 石 垣 市 議 会 事 務 局 局 長  
議 会 事 務 局 次 長  
議 会 事 務 局 議 事 調 査 係 主 任

石 垣 市 役 所 企 画 部 企 画 政 策 課 課 長 補 佐 兼 企 画 係 長  
企 画 部 ふ る さ と 創 生 課 ふ る さ と 応 援 係 課 長 補 佐 兼 係 長

## ○石垣市の概要 (令和6年12月末日 時点)

面 積 : 2 2 9 . 1 5 km<sup>2</sup> ( 君 津 市 3 1 8 . 8 1 km<sup>2</sup> )

人 口 : 4 9 , 8 1 7 人 ( 君 津 市 7 9 , 5 2 0 人 )

石垣市は、最南西端に位置する八重山諸島の主島・石垣島と尖閣諸島などの13の無人島からなる。面積は、沖縄県全面積(2,282km<sup>2</sup>)の約10%に相当する。

石垣島から各地までの距離は、沖縄本島(那覇市)約410km、大阪約1,590km、東京約1,950km、台湾(台北)まで約280kmとなっている。沖縄県内で最高峰の於茂登岳(標高525.5m)を中心に、南に平野が広がり、湾岸・半島・岬・海浜など多様な自然を織り成している。

戦後、米軍統治のもと、昭和22年(1947年)に市制が施行され、産業基盤の整備を進めるなか、さとうきび、パイン等の産業が急速に発展した。昭和39年(1964年)には隣接する大浜町を編入合併して石垣島全域を行政区域とする新石垣市が誕生。昭和47年(1972年)5月15日、27年間にわたる米軍統治に終止符が打たれ以降、祖国復帰に伴う特別措置によって、さらに各産業の基盤整備が推進され、大きく変貌を遂げた。

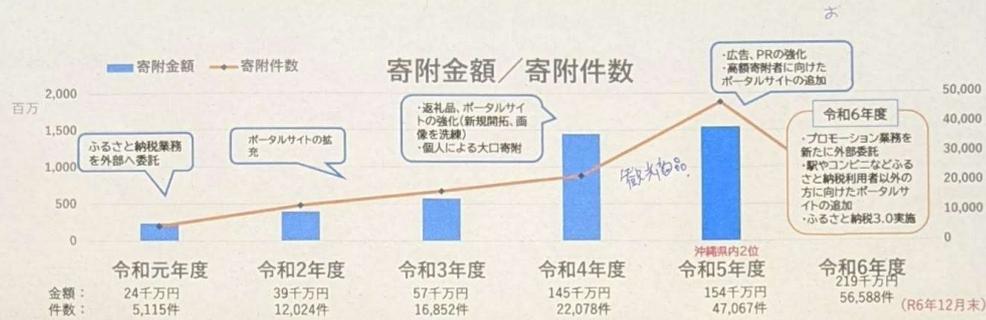
亜熱帯海洋性気候と島嶼軍からなる自然的特性を活用し、日本最南端の自然文化都市として、農業、畜産業、水産業、観光業を中心に経済活動が営まれている。年間約137万人(平成30年観光入域客数)の観光客が訪れる。

### <視察概要>

#### ①「ふるさと納税について」

※以下の資料を基に説明、及び、質疑応答を行った。

# 石垣市ふるさと納税



## 令和5年度人気返礼品(上位300位)

品目	申込件数	寄附金額	割合 (件数・寄附額)	
フルーツ (マンゴー、パイナップル、バナナ、パッションフルーツ、加工品等)	16,834件	205,762千円	35%	13%
お肉 (牛、豚、鶏、加工品)	8,237件	153,472千円	17.5%	10%
トラベル系 (クーポン券、宿泊券、アクティビティ他)	5,689件	462,827千円	12%	30%
尖閣 (返礼品なし直送寄附)	3,205件	23,373千円	7%	1.5%
酒 (泡盛、地ビール他)	1,818件	27,400千円	4%	2%
その他 (雑貨、工芸品、水産物、米、お菓子他)	7,068件	81,838千円	15%	5%

石垣市はふるさと納税寄附金50億円を目指します!

石垣市へのご寄附はこちらから



## 寄附額増に向けた取り組み内容

### 1. ポータルサイトの拡充

- R3 : 5 サイト (ふるさとチョイス、JTBふるぽ、さとふる、楽天ふるさと納税、ANAふるさと納税)
- R4 : 9 サイト (auふるさと納税、セゾンふるさと納税、JALふるさと納税、ふるなび追加の4サイトを追加)
- R5 : 12 サイト (一休ふるさと納税、ふるラボ、ふるさとNOW、3サイトを追加)
- R6 : 19 サイト (Amazon、ふるさとプレミアム、JRE など・・・)

寄附者の9割が4大サイト (チョイス、楽天、さとふる、ふるなび) を利用。ポータルサイトの追加は、取り扱う返礼品の特徴や利用者層、利用手数料などを勘案し、石垣市に適したサイトを随時追加している。

# 寄附額増に向けた取り組み内容



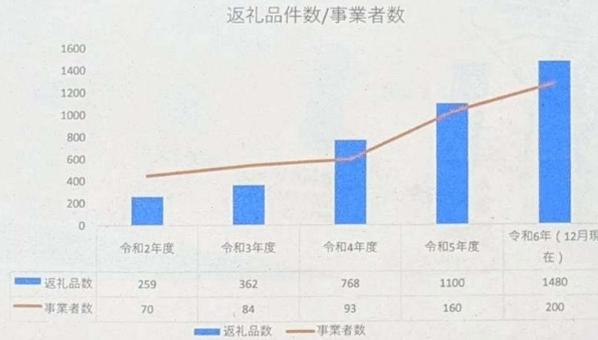
## 2. 新規事業者開拓、柱となる商品の構築事業者個別訪問

令和4年度より、意欲ある事業者を対象とした**返礼品開発講座**（特産品どうしよう講座）を行い、既存返礼品のブラッシュアップと新規開発に力を入れ、返礼品登録数が年々増加しています。



講義の様子

オンライン開催進行（画像は過去実績）



やり込み → 採掘 リンク → 積極的に配布

5

### ■活用事業事例 1

事業名：石垣市児童生徒進学等支援金給付事業

事業総額：86,191,940円

事業内容：子育て世帯の経済的負担を軽減し、児童生徒の教育環境の向上と、子育てしやすいまちづくりの実現のため、**小学校・中学校・高等学校等へ入学する児童**（進学しない左記同年齢児を含む）の養育者に対し、対象児童**1人当たり5万円を給付**する。



### ■活用事業の事例 2

事業名：傷病カンムリワシ救護業務

事業総額：2,836,073円

事業内容：傷を負った**カンムリワシを治療**するとともに、**野生復帰に向けたリハビリ訓練**を施し、絶滅危惧ⅠA類（CR）に分類される貴重なカンムリワシを救護、保全する。



8

### ■活用事業の事例 4

事業名：高齢者バスチケット事業

事業総額：12,363,583円

事業内容：対象高齢者（65歳以上の非課税世帯、75歳以上）に対しバスチケットを発行し、**路線バスの乗車料金の全額免除**することで、外出機会の少ない**高齢者の社会参加**のきっかけとなり、高齢福祉の向上並びに地域の活性化に寄与できる



9

# 石垣市はふるさと納税寄附金 50億円を目指します！

## 寄附額 50億円に向けた今後の取り組み

### 1. 返礼品在庫の確保、拡充

トラベル系返礼品を中心に充実させながら、人気のあるフルーツ（マンゴー、パイナップル）、お肉（石垣牛、豚）の在庫を確保するため、**返礼品事業者の生産力向上に資する取組を支援する補助制度（ふるさと納税3.0）**実施  
*マンゴー、パイナップル、石垣牛、豚、米、そば*

### 2. 現地決済型ふるさと納税の拡充

石垣島に観光等で訪れた方が**その場でふるさと納税による寄附を行い、その場で利用できる返礼品を受け取ることができる仕組み**を、より多くの施設で活用できるよう、取り扱うサイトの追加と利用施設の拡充を行う予定。

### 3. 高額寄附者層に向けた返礼品開発

寄附単価の**高い体験型の返礼品の開発**を目指す。  
*20万以上の寄附者への開発*

### 4. 柱となる返礼品の強化

南国フルーツ、肉類（ハンバーグなど）、観光商品の充実

## ○石垣市の「ふるさと納税」の取り組み

令和元年度2億4千万円だった寄附額を様々な取り組みを行い、寄附額を増やし続けている。企画や返礼品のアップデートを繰り返し行い、各ステージごとに番号をつけて更新することで、新たな取り組みを行うことに成功している。

寄付額としては、令和2年度で3億9千万円、令和3年度で5億7千万円、令和4年度で14億5千万円、令和5年度で15億4千万円、令和6年度は22億円の見込。

寄付額増に向けた取り組みの最初のアプローチはふるさと納税業務を外部委託したこと。委託によって、ふるさと納税を専門に行う民間企業の日線による企画や広告宣伝プロモーションが行われた。また、それまで多忙すぎた市職員に時間的余裕が生まれ、それをふるさと納税のさらなる向上へつなげられた。

また、令和3年度に5つだったポータルサイトを令和4年度は9サイト、令和5年度は12サイト、令和6年には19サイトまで増やした。

次の取り組みとして、新規事業者の開拓と柱となる、返礼品の事業者訪問と、返礼品開発講座を行った。「特産品どうしよう講座」と名付けられたこの講座では、これまでふるさと納税の返礼品に取り組んだことのない事業者への訪問も行った。また、オンラインでの講義なども行っている。商品を作りたいが、機械などが無い場合は、その導入費用を返礼品を求める人を中心にクラウドファンディングを使って集めるなど、丁寧に取り組んでいた。こうした既存返礼品のブラッシュアップと新規開発に力を入れ、返礼品登録数を年々、増加させている。こうした取り組みは委託した令和4年度から委託した民間事業者DCTが積極的に行っている。

また尖閣諸島のある市として尖閣諸島オリジナルピンバッジや周辺でとれるアカマチという高級魚を「尖閣マチ」というブランド魚として返礼品にしている。また資料収集や情報発信のための費用に使うとして、返礼品なしのふるさと納税もある。令和5年度、尖閣関連の寄附は申し込み数3205件、2337万円で全体の件数の7%あった。

様々な取り組みによって、令和2年度には事業者数70社、返礼品数259アイテムだったものが、令和6年度には事業者数200社、返礼品数は、1,480アイテムまで増加している。

## ◎柱となる返礼品の構築

＜令和5年度＞

- ① コア層向けの返礼品「尖閣ピンバッジ等」の開発
- ② 認知度の高いスイーツ企業の商品「ロイズ石垣」の追加
- ③ 付加価値の高い返礼品「石垣島黒毛和牛の熟成肉」の開発
- ④ 観光に特化した体験型返礼品「ホテル宿泊券、現地決済対応の返礼等」の拡充

＜令和6年度＞

- ① 観光に特化した体験型返礼品「ホテル宿泊券、現地決済対応の返礼等」の拡充
- ② 人気のハンバーグ関連商品の拡充
- ③ 商品の試作を都心でPR・シリーズ化
- ④ マンゴー、パイナップル在庫の確保に向けた返礼品事業者の生産力向上に資する取り組みを支援する「ふるさと納税3.0」の実施

## ◎寄附金の使い道を細かく設定

石垣市ではふるさと納税の活用先についてもわかりやすく書かれている。例えば、児童生徒の進学等支援金給付事業では入学するときのタブレット購入など児童一人当たり、5万円を支給している。また、65歳以上の非課税世帯と75歳以上の高齢者のバスチケットを無料にしている。さらに、市の鳥であるカンムリワシが傷を負った場合の治療費用、冬の観光客を増やすためのモニュメント建設事業など、ふるさと納税の使い道が寄附者の視点に立って、どのような使われ方になるのかわかりやすく示されている。

### (所感)

ふるさと納税は戦略的な取り組みで寄附額が増加し、財政の助けとなっている自治体と、効果の出ていない自治体との差が大きくなっていると考えます。

石垣市は、まずは市長が50億円の目標を明言したことが良い結果を生んでいると感じました。庁内がその目標に向かう共通認識のもと、年度ごとに問題と対応を明確にして解決していく。次の年度では同じ取り組みをして行くのではなく、アップデートしながらより寄附額増加の取り組み及び対処を考えていく、目標をしっかりと定めて、関係者が認識を共有して、目標達成の為に柔軟な変化をもって対処しているといった、理想の一つのシステムを作り上げていることが素晴らしいと感心しました。

本市に取り入れられることも多く、まずは長期的な目標と、短期的な目標をしっかりと定める必要性を感じました。達成までの過程を明確にする、will と hope の違いをしっかりと考えて指示していかなければならないと感じました。

また、寄附金の使用目的を細かく設定することで寄附をする方々に、事業への参加意識を持たせることも、石垣市が年々寄附額を伸ばしている要因の一つで、本市も取り入れていかなければならないと感じました。自分の寄附がどのように使われていくのか、寄附をする大きな要因となりえると考えます。

最後に、本市におけるふるさと納税の取り組みも、明確な目標、考え方なしに取り組んでも成果は得られない。民間企業的な考えを取り入れ、寄附をしてくれる方々の気持ちを考え、選ばれる自治体になっていかなければ、寄附額を伸ばしていくことは大変困難であると感じました。

(四宮安彦)

## <視察概要> 2. 特定臨時避難施設『シェルター建設』について

※以下の資料（一部抜粋）を元に説明を受け、その後質疑応答を行った。

## 2. 特定臨時避難施設の整備

### 整備の要件

● 下記の2要件を満たす市町村と調整の上、特定臨時避難施設を整備

- ① 住民等が広域避難を行う場合に、輸送手段が航空機又は船舶に限られるとともに、避難先地域が遠距離にあるために船舶での輸送時には沿海区域を超えた避難が必要な離島に所在するといった、避難の困難性がある
- ② 全ての住民の広域避難を想定した避難実施要領のパターンについて、作成及び公表を行うとともに、当該避難実施要領のパターンを活用して、国と都道府県が共同で行う国民保護訓練を実施している

要件を満たすのは、先島諸島の5市町村のみ  
(与那国町、竹富町、石垣市、多良間村、宮古島市)

## 4. 石垣市の特定臨時避難施設

### 取組状況

住民の生命・身体・財産を守るための万全の準備を行う必要がある

離島である本市は、住民避難の完了までに時間を要する

避難完了までの間、住民の生命・身体を守るための適切な特定臨時避難施設が必要

今後、市役所隣接地に整備予定の防災公園地下に、平時は駐車場、有事の際は特定臨時避難施設として活用できる施設を計画中



125.3階は  
1000名程度  
避難  
防衛公園 2/3 補修 - 防衛庁  
50年連続  
防災公園  
敷地面積  
下付地の全額  
5200万(18年)  
今年度基本設計  
(内閣府)  
500人  
6000㎡  
敷地面積  
防衛庁

石垣市は、有事の際に住民が一時的に身を寄せることができるシェルター（特定臨時避難施設）の整備に、令和6年度から設計に着手し、令和8年度中の完成を目指すこととしている。

## ○シェルター（特定臨時避難施設）は武力攻撃を想定した避難施設

### <基本的な考え方>

国の【国家安全保障戦略】（令和4年12月）

我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している

- ・武力攻撃を含む我が国の安全を脅かす事態に際しては、防衛力を含む総合的な国力を活用して、その侵害を防除する
- ・国民保護という観点からは、武力攻撃より十分に先立って、南西地域を含む住民の迅速な避難を実現すべく、様々な種類の避難施設の確保等に取り組む

\*武力攻撃より十分に先立って、住民等の広域避難を開始し、完了することが住民等の安全を確保する上で最も重要だが、避難の困難性がある地域では、一定期間避難地域で堅ろうな非難施設としての「特定臨時避難施設」シェルターを整備

## 1. シェルター（特定臨時避難施設）の整備

### <国の示す整備の要件>

下記の2要件を満たす市町村と調整の上、整備を進める

- ① 住民等が広域避難を行う場合に、輸送手段が航空機又は船舶に限られるとともに、避難先地域が遠距離にあるために船舶での輸送時には沿海区域を越えた距離が必要な離島に所在するといった、避難の困難性がある
- ② 全ての住民の広域避難を想定した避難実施要領のパターンについて、作成及び公表を行うとともに、当該避難実施要領のパターンを活用して国と都道府県が共同で行う国民保護訓練を実施している



要件を満たすのは、先島諸島の5市町村のみ

（与那国島、竹富島、石垣市、多良間村、宮古島市）

## 2. 特定臨時避難施設の技術ガイドライン \*一部抜粋して記載

### ○全体像

#### 脅威

着上陸侵攻、ゲリラや特殊部隊による攻撃、弾道ミサイル攻撃及び航空攻撃の4つの類型の武力攻撃事態を対象とし、それらに伴う爆弾、砲弾、通常弾頭による爆風等を外力する。

**避難期間**：2週間程度の避難を想定。

#### 収容人数・施設規模

100～300人程度の場合、収容スペース（400～1200㎡程度）

管理室、備蓄倉庫、トイレ、設備室等

### ○建築計画

・立地：可能な限り地中に深く

・収容スペース：避難や宿泊等に必要な床面積の確保

（2㎡/人程度＋通行部分等）

・出入口：相互に離れた位置に2カ所以上、前室、爆風等に対し堅ろうな扉の設置

・備蓄倉庫：食料、飲料水（1人1日あたり3L程度）、生活用品等

・トイレ：収容人員に対応（1基/20人を目安）

・管理室：本施設の運営・行政活動

## ○構造計画

- ・構造体：外部に面する壁及びスラブ＝厚さ 30 cm以上の鉄筋コンクリート造

外部に面しない壁及びスラブ＝厚さ 20 cm以上の鉄筋コンクリート造

## ○設備計画

電気・給水・給湯・排水・換気・空調・通信設備等

### 3. 石垣市の特定臨時避難施設の取組状況

住民の生命・身体・財産を守るための万全の準備を行う必要がある

離島である石垣市は、住民避難の完了までに時間を要する

避難完了までの間、住民の生命・身体を守るための適切な特定臨時避難施設が必要

今後、市役所隣接地で、現在は職員駐車場として利用している場所に、防災公園を整備し、その地下に、平時は駐車場、有事の際は特定臨時施設として活用できる施設を計画している。



写真：石垣市役所横のシェルター予定地

関連：旧石垣空港跡地の市街地整備計画について

新たな「防災・医療・福祉」の核となる都市構造の整備

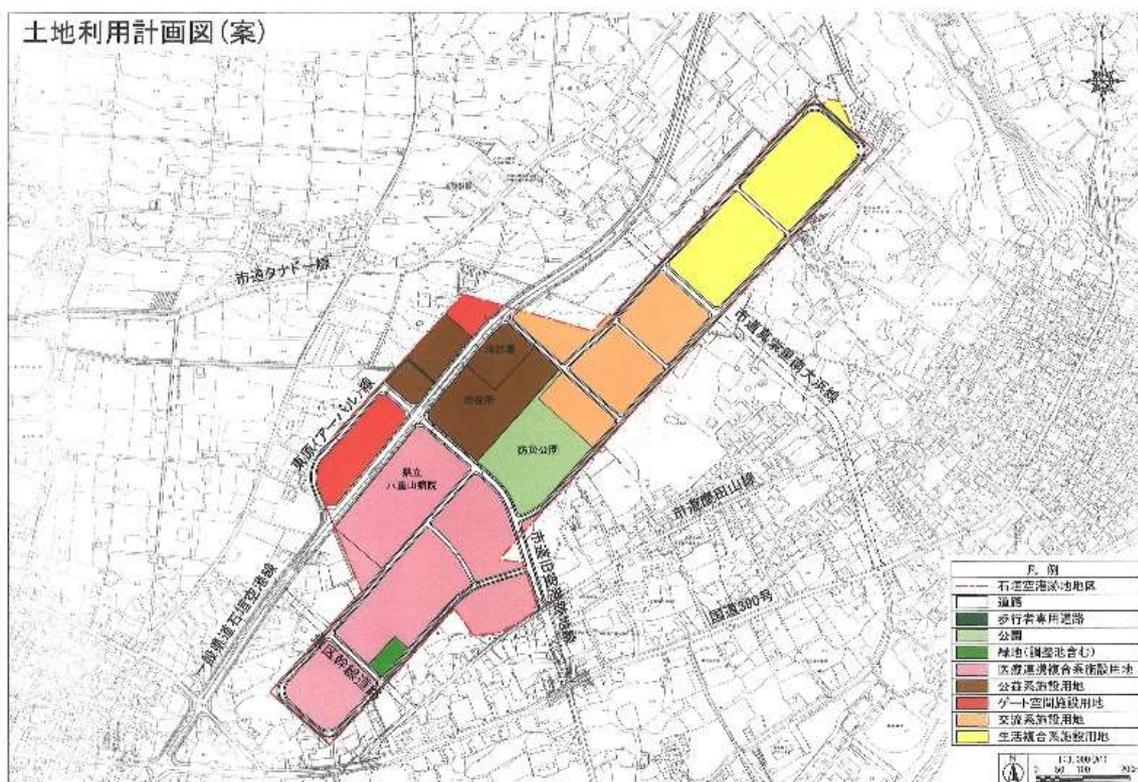
港を中心とした市街地⇒中心市街地・新港地区・旧空港跡地を一体的市街地へ形成

○旧空港跡地の活用イメージ ※旧空港跡地利用計画 平成29年2月より抜粋

- ・市街地区域のほとんどが津波浸水予測区域であるが、旧空港跡地は地理的に安全性の高い場所である
- ・国・県が約9割を所有する、約50haと大規模な公有地である、国や県の所有地は分散しており、一部、一般権利者の所有地が含まれる。
- ・市の消防本部、消防署が移転済み
- ・県立八重山病院の新築移転済み（圏域の急性期医療を担う中核病院、災害拠点病院を担う）
- ・市役所新庁舎の移転済み（令和3年、約109億円）

\*資料：「旧空港跡地利用ゾーニング図」

（石垣市ホームページ市政情報 まちづくり・都市計画 旧空港跡地利用計画より抜粋）



(所感)

政調会長 下田剣吾

本市においても、国民保護法に基づき、武力攻撃事態等において住民の避難及び避難住民等の救援を的確かつ迅速に実施するために千葉県が緊急一時避難施設として君津市役所や君津中学校など80か所を指定している。

こうした緊急一時避難施設の指定条件は、「ミサイル攻撃時の爆風等からの直接の被害を軽減するため、一時的（1～2時間程度）に避難するための施設で、コンクリート造の堅ろうな建物や地下施設を想定している。このため木造の本市の保育園などは指定されていない。

指定された施設の中で、地下への避難可能な施設は本市には一つもなく、かずさ4市では木更津市の西口駐車場と富津市の大貫駅地下歩道のみが指定されている。

Jアラートの防災無線を使った訓練なども行っているのは知っていたが、こうした施設について十分理解していなかったことを痛感した。

石垣市が整備に取り組むシェルターは本市が指定されている緊急一時避難施設より重要な「特定臨時避難施設」である。

国は武力攻撃災害が広範囲で長期間に及ぶ可能性がある場合、その前に住民を広域避難させることが最も重要と考えている。しかし、石垣市を含む南西地域で広域避難する場合、遠距離であることや、輸送手段で制約があることから、「広域避難が完了するまでの一定期間、避難誘導に従事する行政職員等及び避難に遅れる住民等が、要避難地域に留まらざるを得ないことも想定し、そうした行政職員及び住民等が一定期間避難できる安全な避難先の確保が必要」として、国が財政措置をして支援し、建設するものが特定臨時避難施設である。

最終的な補助率などは確定していないものの、国の支援がなければ建設できない大規模なものである。令和7年度に基本設計を行い、実施設計、建設と進んでいく。爆風などに耐えられる特殊な構造のため、実際の建設にも工事監理など苦勞が多いと思われる。

石垣市は事業開始に向け、住民説明会を行ったが、そうした武力攻撃災害を想定することへの戸惑いの声も聞こえたという。ある高齢者から「島に残りたい」という意見も出たが、市の担当者は「水や電気などのインフラを残すためには技術者が残る必要がある。なので、そうした方を守るためにも避難することが重要」と説明したということだ。

隣国や国境も近いため、本市では感じられない、緊張感ある取り組みを学ぶことができた。武力攻撃災害など、想像はしたくないが、石垣市などだけが取り組むことでない。本市も含めて、国民保護への取り組みをあらためて考え、それぞれが準備する必要がある。一時避難施設の強化や訓練についても検討する必要がある。

また、武力攻撃災害からの広域避難は、九州など多くの自治体や民間事業者などとの連携・協力がなければ実現できない。その調整や準備などの負担を石垣市をはじめとする南西地域などの自治体だけ負うのは厳しい。南西諸島や離島など、平和な日本を守っている最前線の自治体や職員に対して、本市も含めて、ふるさと納税や様々な交流を通じて、国民的に支援する雰囲気を作っていくことも必要だと考える。

## 会員 大滝浩介

私はシェルターだけでなく、石垣市のまちづくりについて考えた。「防災・医療・福祉」を旧空港跡地の都市構造を抱え、防災性向上への対応に寄与する。消防本部・消防署、市役所新庁舎の移転を契機とした機能連携を図り、市内の防災拠点を形成する。

特定臨時避難施設の整備としては、5市町村が要件を満たし、着手することになるが、石垣市においては約3haの防災公園を今後整備し、災害時の支援組織等の活動拠点、地域防災拠点レベルの機能を有する公園。また、災害時の円滑な連絡等を考慮し市役所に隣接している。

本市では、市内唯一の運動公園である内みのわ運動公園のリニューアルに伴い、災害時の避難所運営に対応した機能や設備がある公園をコンセプトとしても掲げている。

駐車場も夏場の暑さが懸念されるため、石垣市ではシェルターとしての機能を持つ駐車場を平時に一般駐車場として活用する。

本市でも夏の暑さを考慮し、屋根付きの駐車場で太陽光の設置等、更なる活用法を探ることも必要である。

また、避難所運営に対応する公園として機能や設備のある公園を目指す上で、災害時の円滑な連携を市役所、関係機関とどう進めていくのか、施設規模に対する収容人数、利用できる地域は限定されるが、地域の防災拠点としての機能を市民と一緒に考え、伝えていくきっかけとなる事業でもあり、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていただきたいと思う。



<各視察> 2日目 令和7年1月21日(火) 11:00~12:30

### ③「石垣駐屯地概要と地域貢献について」

場所：陸上自衛隊八重山警備隊 石垣駐屯地  
沖縄県石垣市平得大俣 1273-404

担当：八重山整備隊長 兼 石垣駐屯地司令 一等陸佐  
八重山整備隊 副隊長 二等陸佐

※駐屯地内の会議室で説明を受けた後、駐屯地内を見学、質疑応答を行った。

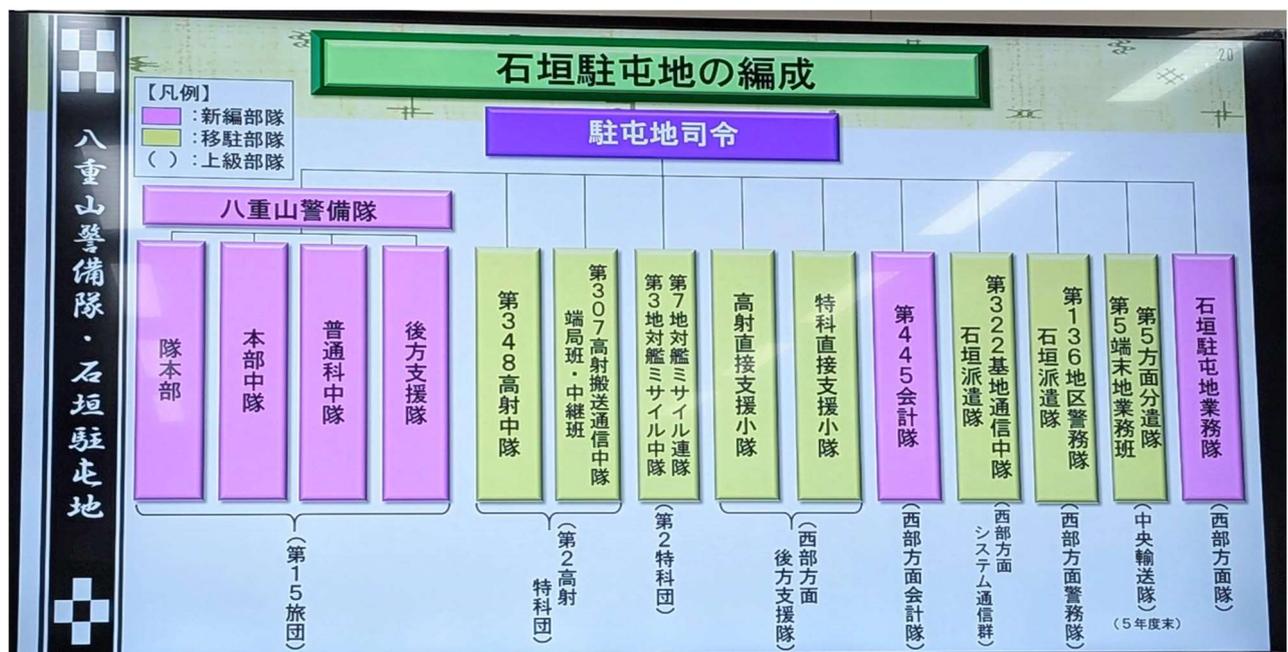
#### <石垣駐屯地の概要>

2023年3月16日に開所した石垣駐屯地。駐屯地の面積が全部は47ヘクタール、東京ドーム10個分の広さ。日本で最も新しい駐屯地である。

沖縄を含む南西諸島に駐屯する部隊。「南西シフト」の拠点の一つとして、八重山警備隊のほか、地対艦ミサイルと地対空ミサイルの両部隊が配備され、570人の自衛隊員、車両約200台が駐屯している。

これまで、2016年3月に与那国島に駐屯地が開設されるまでは、沖縄本島以外には陸自の部隊が配備されていなかった。

2019年3月、宮古島駐屯地の開設、石垣駐屯地の開設により南西地域の防衛体制の強化をしてきた。今後も防衛力整備計画に基づき南西地域の防衛体制強化のため、沖縄県の第15旅団の師団への改編などを計画しており、目に見える形で防衛体制を強化していく。



## <八重山諸島の概要>

- 八重山諸島は有人島12島、無人島20島の島々が存在
- 島々は形状から「高島」「低島」に分類され、低島地域は高島地域にインフラを依存
- 高島：石垣島 於茂登岳は標高525.5mで沖縄最高峰、宮良川等の大小河川有り
- 低島：竹富島 隆起珊瑚礁からなり、河川なし
- 八重山諸島における文化・経済活動の中心は石垣市
- 八重山年間入域観光者数は約120万人。1日平均3,300人



## <訓練実施状況：駐屯地内>

- 中距離多目的誘導操作訓練、整備訓練、格闘訓練、偵察訓練等により初動・対処能力を向上
- 月に3回、野外炊事競技会を実施し、野外における炊事技術等の能力を向上

## <訓練実施状況：駐屯地外>

- 令和5年度は、沖縄県総合防災訓練等により、訓練実績を積み上げるとともに、通信地誌調査、通信訓練等により各種事態に対する初動・対処能力を向上
- 令和6年度、石垣市民防災訓練、日米共同衛生訓練の実施

## <災害派遣>

○令和5年12月26～27日、市内の浄水施設故障による断水に伴う給水活動を実施  
(実績426世帯)



## <地域との交流：駐屯地一般開放>

○令和6年11月30日「石垣駐屯地やいま DAY 2024」を開催 (来訪者：1495名)  
訓練展示、試着体験、音楽演奏、ビオトープ観察会等駐屯地内の活動を伝え、  
地域住民の理解促進及び安心感・信頼感へつなげる

○石垣島マラソン、キッズおしごと体験会、石垣島まつり等、地域が主催する行事等に積極的に参加し、関係構築につなげている

## <地域貢献>

○外来生物の駆除などのボランティア活動等にも積極的に参加している。  
○隊員は県外出身の者もいるが、子女が地元の学校に入り、伝統芸能を学ぶなど、  
家族も含めた、関係者全体で、地域のために取り組んでいる姿が印象的だった。

## 地域との交流（地域行事等 1 / 3）



石垣島マラソン支援



キッズおしごと体験会



市主催BBQ大会（ギネス達成）



石垣島まつり（市中パレード）

## 地域との交流（地域行事等 3 / 3）



爬龍船競漕大会（石垣市石垣漁港）



豊年祭（石垣市四ツ子）



獅子祭り（石垣市字登野城）



アンガマ（自衛隊宿舎）

地域が主催する行事等に参加し、地域との関係構築・信頼関係強化を図るとともに、  
に対する安心感・親近感を醸成

## <最新の設備>

○最も新しい駐屯地として、トレーニング設備のある体育館などもある。清潔感のある食堂や売店、隊員の福利厚生として、飲酒ができるオシャレで、アメリカンな雰囲気の「隊員クラブ」もある。

## <排水施設>

○排水処理に関しては、車両整備場、給油所などの排水は油分離槽を通し、処理水を駐屯地外へ排出し、周辺の環境保全対策を図る。

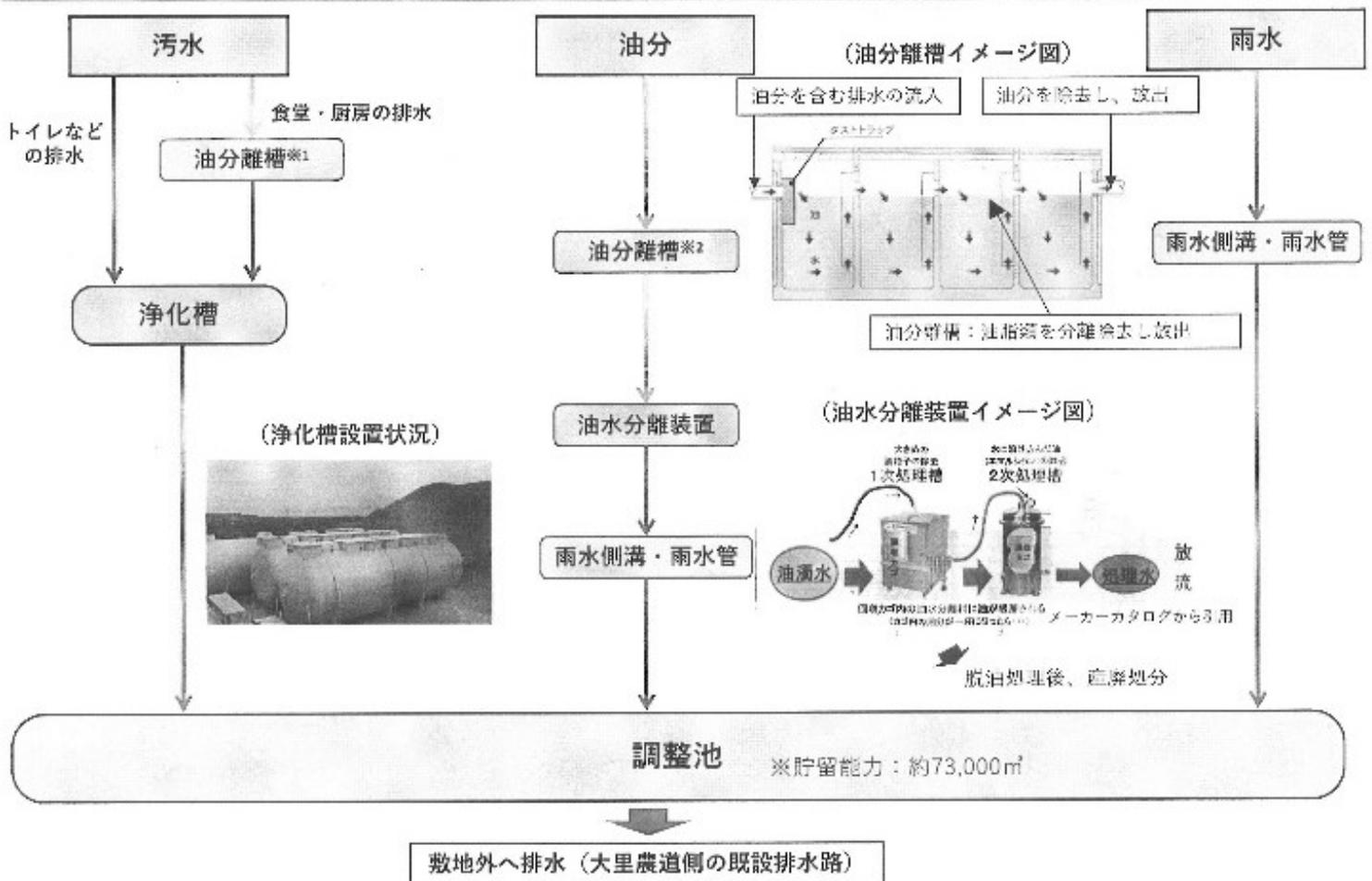
\*資料：「石垣駐屯地の排水処理の概要」P17

(石垣市ホームページ

石垣駐屯地開設説明会

令和5年3月22日資料より抜粋)

## 石垣駐屯地の排水処理の概要



※1 市中のレストラン等で使用されているものと同等の仕様です。  
 ※2 市中のガソリンスタンドで使用されているものと同等の仕様です。



○NHK や民放などの取材も積極的に受け入れ、駐屯地の現状や必要性を伝えている。

○インスタグラムやエックスなどの SNS も開設し、積極的に自ら情報発信している。

### （所感） 会員 大滝浩介

南西諸島海域における中華人民共和国及び朝鮮半島有事などの軍事的脅威に対する日本の離島防衛態勢強化を目的として整備される事業の一環として石垣駐屯地が開設された。しかし、当初は、駐屯地の建設に抗議する住民もいた。そして、開設から1年半が経過した。

有事に備え、訓練に励んでいる隊員の姿を見た。また、地域が主催する行事等に積極的に参加し、地域との関係構築・信頼関係強化を図るとともに、自衛隊に対する安心感・親近感の醸成に努めていることが伝わってきた。

また、自衛隊・石垣駐屯地の活動等に地元住民の理解を深めようと駐屯地の一般開放を行い、幅広い年代に対応したイベントを企画し数多くの来訪者に訪れている。

地元住民が安心して暮らせるよう、人とのつながりを積極的に持とうと隊員一人ひとりが駐屯地の「魅力」。「いつてみたい」と思えるまでの並々ならぬ活動への思いが伝わった。

本市もまちづくりを進める上で、公共施設の建設、公共工事等、住民への理解なくして前に進むことはできない。日頃から行政と住民が関係を築いていけるよう、あらゆる方策を考え、実践していくことが望まれると思った。

### 政調会長 下田剣吾

まず目に飛び込んできたのは、真新しく、清潔な建物群。防衛施設のため、詳細は書かないが素晴らしい施設であった。そして、迎えてくださった自衛官の皆様の親切で丁寧な対応に感銘を受けた。

千葉県の本市から見ると、台湾有事など来る事態に備え、国民を守るために、離島防衛は重要であり、特に国境に近い場所に駐屯地を作り、充実強化していくことは至極当然に思っていた。

しかし、石垣市に来てさまざまな視察をする中で、駐屯地の建設や自衛隊の存在に対してネガティブな論調が一部かもしれないが、あるということを知った。沖縄の新聞やテレビが厳しい書き方をすることもあること知った。80年前の戦争で、激しい地上戦があり、多くの方々がなくなった沖縄県においては、戦争を憎むという思いが、新たな駐屯地への複雑な思いにつながる方がいるのかもしれない。

ただ、今回の視察で感じることができたのは、石垣市、沖縄県、そして日本を守るために懸命に働く自衛官の姿であった。

防衛のための訓練を重ねるだけでなく、複雑な市民感情に配慮しながら、地域に理解されるようにあらゆる手を尽くしていた。駐屯地でイベントを開催するだけでなく、まちに出て行き、地域が迷惑している外来生物のカエルを捕獲したり、マングローブの植林などボランティア活動をしたりしている。さらには自衛官の家族も地元の学校に入り、伝統芸能を学び、友だちを作り、そうした交流がいくつも生まれ、信頼が高まっているようだった。

下の画像は八重山警備隊石垣駐屯地のエンブレム。



八重山の歴史と伝統文化を尊重する思いから、石垣の伝統織りである「ミンサー織り」をモチーフにしている。赤から徐々に青が暗くなるグラデーションは、24時間防衛するという決意が込められている。そして、石垣から見える南十字星があり、稲穂二つは、石垣の二回お米が収穫できる豊かさを表した。島への思いが伝わってくる。長い歴史、辛い体験によって、複雑な思いを抱える人がいる状況は簡単には変わらないかもしれない。ただ、市民や石垣市を大切にする隊員の皆様の姿勢はいつか市民の心に伝わると感じた。

もう一つ重要なのは、防衛が日本全体のためにあること。南西諸島を守る石垣駐屯地の取り組みは日本を守るための取り組みである。そのことを本市を含めた多くの国民が考えなくてはいけない。

少子高齢化で自衛官の志望者は減り続けている。本市も可能な範囲で、自衛隊員の募集に協力したり、木更津の自衛隊への理解が深まるように取り組んだりしていくことが大事だ。さらに退官した自衛官の再就職にも、協力できることもあるかもしれない。

遠く離れた地で、日本を守るために、懸命に働く自衛官の姿を見ることができた。そのことを伝えていきたい。視察を受け入れてくださった自衛隊の皆様、全ての関係者の皆様から感謝申し上げます。



<各視察> 3日目 令和 7年 1月22日(水) 9:30~12:00

④ 「沖縄県一の集客を誇る道の駅いとまんの運営、

及び、体験プログラムの取組について」

糸満市観光協会 沖縄県糸満市西崎町4-20-4

担当：一般社団法人  
糸満市観光協会 事務局長

一般社団法人  
糸満市観光協会 商品企画担当 主任

○糸満市の概要 (令和6年12月31日 現在)

面積：46.63km<sup>2</sup> (君津市 318.81km<sup>2</sup>)  
人口：62,234人 (君津市 78,637人)  
財政規模 令和6年度当初予算額 一般会計 320億3923万円

糸満市は沖縄本島の最南端に位置し、三山分立時代は南山王の居城が置かれた。沖縄の漁業の本拠地で、かつてはサバニ(くり船)で南方諸地域まで漁に出たという伝統を持つ。農業も盛んで、サトウキビをはじめ、野菜・葉タバコなどが栽培される。

各地域には旧歴文化に根差した各種の伝統行事も数多く残るとともに、沖縄戦の激闘地であったことから多くの戦跡(ひめゆりの塔など)や沖縄平和祈念公園が存在している。

<視察概要> 「道の駅いとまん」について

「道の駅いとまん」は沖縄県一の売り上げと集客数を誇る道の駅である。2.2haの敷地内に、JAのファーマーズマーケットいとまん、JAのお魚センター、障害者就労支援施設イノー、糸満物産センターの4施設で構成しており、農作物・水産物・商工関連商品・飲食等を地元客と観光客に提供すること、地域の情報発信基地としての役割を担っている施設。駐車台数は大型10台、普通車392台となっている。

沖縄県内最大のファーマーズマーケットを有し、お魚センターでは白飯、酢飯を販売しており、そこに好きな具材を選んで各商店で少しずつ購入することができ、オリジナルの海鮮丼を作ることができる。

障害者就労支援施設が運営する「ばんない」では、沖縄式島豚焼肉の飲食店を行って、年間約5000万円の売上を上げている。

「道の駅いとまん」だが、情報館もあり糸満市の情報を発信すると共に、体験型の「あ・るっく糸満」プログラムの運営をしている。実際に平和記念公園を地元のガイド付きで歩くコースに参加した。私たちに合わせ、千葉県に関わる石碑の紹介をしてくれたり、展示の細かい意味を解説してくれたり、深く心に残る体験となった。

## (所感) 政調会長 下田 剣吾

沖縄県一の客数を誇る道の駅いとまんは農産物の直売所はとても広く、マンゴーやゴーヤをはじめとする青果を求めて多くの客が訪れる。お魚マーケットもかなりの広さで、冷凍していない近海マグロやソデイカなどの特産品を求めてたくさんの観光客が来ている。飲食や休憩のスペースも広く確保されており、人気の秘訣が分かった。

観光協会のもう一つの目玉が地元のガイドさんと共に歩いて体験する「あ・るつく糸満」というプログラムだ。漁業中心の海の暮らしをテーマにしたコースと、古い山城を中心に歴史的な街並みを歩くコース、そして平和記念公園や戦跡などをまわる平和コースがある。石臼で大豆をるところから始まる島豆腐づくり体験や、糸満ハーレーと呼ばれる船のレースのお祭りなどの体験プログラムもある。他ではできない体験を求め、首都圏の高校の修学旅行や企業の研修などが多く訪れ、リピーターも多い。

私たちはその中で平和コースを体験した。元自衛官で沖縄県の妻と結婚し、退職後糸満市に住んでいる方がガイドをしてくれた。祈念式典などが行われ、テレビでも見たことがある平和記念公園。来たことがある会員もいたが、詳細な説明を受けたことで、一つ一つの石碑や言葉の意味を深く考えさせられた。

最後まで県民を守ろうとした県知事が今でも行方不明であること。岬の先へと追いつめられ、多くの県民がなくなった様子。少年兵の子どもたちが水さえなく飢えていたこと。こどもの足元に多くのご遺体が転がっていたこと。そうしたお話を聞いた。

また千葉県から来た私たちに、千葉県民の慰霊碑を案内してくれたり、平和の礎に書かれた名前の中で、千葉県民の場所を教えてくださいました。

改めて平和への思いを強くすることができた。また沖縄県民が持つ複雑な感情についても、国民全体で理解する必要があると感じた。本市の子どもたちにもこうした体験型のプログラムを通じて、様々なことを感じてほしいと思った。

暑い中、ご説明いただいたガイドの方々、観光協会の皆様に感謝申し上げます。

## 会員 四宮安彦

今回の「道の駅いとまん」は従来の道の駅のように、敷地を用意して業者を公募するといった形ではなく、もともとJAの直売所のあったところにファーマーズマーケットをオープンさせてから道の駅の設置要請を行い、その後お魚センターをオープンさせた後に「道の駅いとまん」登録証が交付された手法に面白さを感じた。その後に障害者の就労支援施設として飲食店をオープンし、施設の魅力を増やしているようにも感じた。

また、体験型の「歩く糸満」は様々なコースがありガイドさんがついて90分程度の解説などを踏まえて平和祈念公園を歩くといったコース等が用意されており、私自身は個人的に3度訪れたことのある平和祈念公園だったが、ガイドさんがついて細かな説明をもらったことは無かったので新しい学びをいただいた。例えばここから見える海全体に米国戦艦がビッシリと並んでいたとか、この場に総司令部があった等々、身の引きしめる思いがすると共に、戦争の悲惨さを今まで以上に感じることで興味深いものだと感じた。

本市にこの方式を取り入れることは困難がある。その理由としては市域は約8倍もあり同じことを考えたとしても君津市の魅力の発信は薄まってしまうような気がする。

しかし、取り入れたいかなければならない要素も多く、観光を柱とする部分では明確に魅力を見つけ出して発信することが必要不可欠であると感じた。

